

協業でイメージ刷新

服、バッグ、そして靴……。海外の有名ブランドが、日本のデザイナーと協業するケースが目立っている。日本ならではの緻密な作りや個性的なデザインを取り込むことで、ブランドイメージの刷新を図っている。

(生活部 塚原真美、野倉早奈恵)

「ワタナベ」が、この秋冬向きの商品で協業をしている。その新作が5月下旬、東京で披露された。渡辺さんがロエベの革を使って見せたのは、バンク風ファッション。革をデニムパンツに縫い付け、クラシックな印象のロエベの服を、ハードで若々しい雰囲気に変えた。1975年に発表されたロエベの人気バッグ

高級な革を使った製品作りを得意とするスペインの「ロエベ」と、渡辺淳弥さんがデザイナーを務める「ジュンヤ・サイナー」を務める「ジュンヤ

海外ブランドと日本のデザイナー



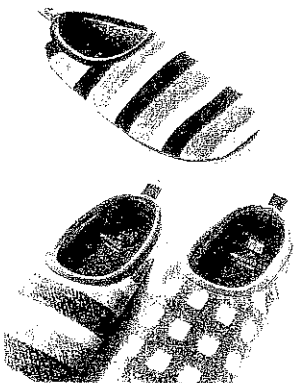
ロエベを代表するバッグ「アマソナ」の新作は、様々な生地がパッチワークされて若々しい雰囲気



モンクレールとホワイトマウンテンアリアが協業したダウンベスト。肩の部分がニット、身ごろ部分がナイロンで作られている

「アマソナ」も、水玉模様を生地などがパッチワークされ、遊び心がたっぷりだ。「日本のデニムに代表されるカジジュアルさとロエベのラグジュアリーな雰囲気を組み合わせて考えた」と渡辺さん。ロエベのデザイナー、スチュアート・ピパーズさんも「ロエベをどのように変えてくれるのかという期待に、渡辺さんは応えてくれた」と話す。

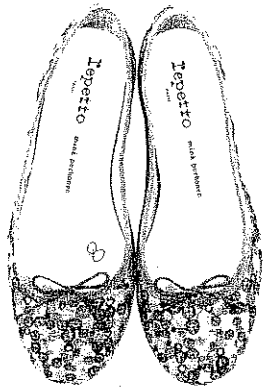
この秋冬の男性服のデザイナーとして、「ホワイトマウン



カンパールとミントデザイナーズが協業した室内履き



ロエベとジュンヤ・ワタナベが協業したデニムパンツ



ミナ・ペルホネンのオリジナル生地を使ったレベットのバレリーナシューズ。満天の星をモチーフにした

戦う長袍

長袍は、詰め襟で丈がくるぶしまである服だ。前身姿を深く重ね合わせて右脇の下あた

に、北方武術界の長老から南北の武術統一の夢を託される。長老の娘ルオメイ(チャン・

ようといっぴ・マン)に挑み、命懸けの戦いの中で心を通わせる。互いに再会を誓うが、戦争が始まり、思いはかなわない。いっぴ・マンは食い詰めて香港で用心棒に。ルオメイは彼への思いを封印し、武術に精進する

注文はなく、自由に仕事ができる」と相沢さんは話し、モンクレールを象徴するダウンジャケットの生地(ニット)を組み合わせて、カジジュアルな装いを披露。モンクレールは、日本ブランドの「サカイ」や「ビスビム」とも協業しており、日本人デザイナーの創作に対する信頼もあるようだ。ほかにも、スペインの靴ブランド「カンパール」が、ポツンと協業した秋冬物の靴を発表。フランスのパレエ用品ブランド「レベット」も、皆川明さんの「ミナ・ペルホネン」の生地を使った女性用の靴を日本で販売している。ブランド経営などを研究している早稲田大学ビジネススクール教授の長沢伸也さんは「長い歴史を持つ高級ブランドは、ブランドイメージが固定しがち。創造性の高い日本人デザイナーの起用は、それを一新する強力なカンフル剤」とも語る。日本人デザイナーにとっても、協業は知名度向上につながる」と話す。

ブランドの意図を忠実にくみ取り、緻密な仕事を得意とする日本のデザイナーと、海外の有名ブランドとの協業は今後、さらに広がりそうだ。

モード UPDATE

